



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 11

H29. 12. 7 発行

未就学児童の保護者さんの **かぜくも教室**

今年度のかぜくも教室は、2回にわたり「ペアレントトレーニング」の内容を行いました。講師は本校の上遠野真理教諭で、未就学のお子さんがある保護者さんが参加してくださいました。

初回の教室では、「子育てをされていて、イライラしたり怒りが爆発しそうになったりすることがありますか？そんな時はどうしていますか？」という問いかけからスタートし、「6秒ルール」を理解し、子どもをほめることの大切さやほめ方について、また、参加者同士で発表し、意見を交換しました。



2回目の教室では、行動の仕組みや効果的なほめ方などについてのお話を聞き、二人一組になって声かけ変換表（行動を良いほうに捉える）を使いロールプレイをしました。2つの回を通して保護者さんたちからは、「子どもにも自分にも前向きになれそうです。」「子どもへの対応が変わりました。少しですが心にゆとりができたように思います。」などの感想をいただきました。

かぜくも教室は、未就学児をお持ちの保護者さん対象の勉強会（10：00～11：30）です。次回は12/15（金）「先輩お母さんの話を聞こう」を開催予定です。参加を希望される方は、地域支援センターかぜくも（☎34-3806）までご連絡ください。

～出かける支援～

本校では、特別支援学校の専門性を地域の学校に活用し「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するために、各学校からの相談に応じています。出かける支援では、授業や遊びの様子を参観させていただき、担任の先生やコーディネーターの先生と共に、お子さんの支援について一緒に考える取り組みをしています。

● 今年度の相談内容 ●

- ・対人関係と集団活動への参加が難しい幼児への支援。（幼稚園）
- ・発音が不明瞭な児童への支援。（小学校）
- ・学習の遅れと生徒の行動理解、個別の支援計画と個別の指導計画の作成について。（中学校）
- ・教科指導と学級経営について。（小学校）
- ・心配なお子さんが多いクラスの学級経営。（幼稚園）
- ・特別支援学級児童の学習支援について。（小学校）
- ・障がいの理解と支援について。（中学校）
- ・児童の行動理解と対応について。（小学校）

特別支援教育についての ミニセミナー

ミニセミナーは市内の幼・保・小・中・高の先生方を対象とした、特別支援教育にかかわる勉強会です。今年度は3回開催し、1回目は「小学校段階から卒業後を見据えた就労支援」をテーマに本校の進路指導部・部長 吉田 淳子教諭が話をしました。本校の進路指導をもとに、高等部の現場実習から見てきたことや小学校・中学校段階で身に付けておくことよきことを具体的な事例を挙げての説明でした。生活習慣、話を聞く、あいさつや返事など「生活する力を伸ばすことが働くことにつながる」ことを改めて感じるセミナーでした。



2回目は「作品展に向けた教材紹介と作成」というテーマで、本校の村澤梨沙教諭が墨染めの実技講習を行いました。市内の小学校や保育園の先生方、事業所の方に参加していただき、染料や墨を使い実際に各自で好きな模様を描きました。参加された先生方からは、「今度の授業参観で、この技法を使って授業を考えてみたい」という声が聞かれました。



き、染料や墨を使い実際に各自で好きな模様を描きました。参加された先生方からは、「今度の授業参観で、この技法を使って授業を考えてみたい」という声が聞かれました。

学校へ行こう週間

11月14日・15日・16日の3日間、学校へ行こう週間（学校公開）が行われ、多くの方々が来校してくださいました。地域支援センターでは、「かぜくもひろば」「かぜくも教室」「かぜくも相談室」など、早期からの支援についてお話しさせていただきました。教育相談では、就学前のお子さんや小学校のお子さんを持つ保護者の方からの相談、また、小学校の先生からの相談に応じました。校内見学では、小学部では生活単元学習、中学部では作業学習、高等部では校内実習の様子を参観していただきました。

